

実行委員、スタッフ

「だっぴ50×50」の”魅力的なゲストと若者が集まる場作り”というコンセプトに共感して集まった、かいわれの会メンバーや前回のだっぴイベントに感化した学生たちで構成されています。実行委員会のメンバーも現在”だっぴ”中です。

プロデューサー：柏原 拓史（かいわれの会 代表）
会計&事務・企画（ブログ担当）：萩野 倫子
広報・企画：藤井 裕也（美作市地域おこし協力隊）
三宅 真史
明田 直子（岡山大学大学院2年）
神崎 拓也（岡山大学大学院2年）
日野 宗一郎（岡山大学3年）
草地 陽子（岡山大学3年）
熱田 尚子

司会：赤木 佑衣（香川大学4年）

パンフレット

アドバイザー：岩藤 百香（川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科 助教）

デザイン：川原 由依（川崎医療福祉大学3年）

当日スタッフ：岡山大学 環境部「エコロ」

※2012年3月時点

主催団体

だっぴ実行委員会

だっぴ50×50とは、自分の生き方について考える若者50人と既に岡山で自分の在り方を見つけて魅力的に生きている人との出会いの場。

この場をコーディネートし、広げて行くために集まったのが、“だっぴ実行委員会”の面々。かいわれメンバーや前回のだっぴイベントに参加したワカモノ達で構成されています。

かいわれの会（ブログ：<http://blog.canpan.info/kaiware2/profile>）

20代、30代を中心とする有志の任意団体で、“10年繋がる仲間を作り”と“地域を持続可能に楽しくしていくこと”を目的に2007年3月に始動。

これまで、2ヶ月に一度程度の頻度で、日本全国からゲストを呼んだ勉強会と交流会を開催する他、大学生への講師派遣や、映画上映、だっぴイベントなど着実な顔の見えるコミュニティを構築してきました。

イベントでは、毎回20人～60人くらいの岡山県内で活躍する若手社会人や学生、ボランティア団体などの方が参加しており、ML登録者数は100名超。

か：環境に い：一生懸命な わ：若い人達の れ：連携

の頭文字をとって命名しています。

※本イベントは、そんなかいわれの会から派生したイベントの第4回目です。

過去の開催履歴

2009年 3月8日 だっぴ2009開催 ……87人参加
2010年 3月7日 だっぴ2010開催 ……53人参加
2010年12月19日 だっぴ50×50 ……101人参加

岡山の未来を耕すイベント

だっぴ50×50

REPORT

だっぴ50×50
2011報告書



これから社会人となる学生
働き出してまだ日が浅い若手社会人
進路の選択を迫られる高校生
…
これからの岡山の未来を耕す若者

そして、50人の社会人と魅力的な在る方、働き方
そんな50×50のキッカケが生まれた日
～2012年1月7日～
その活動の記録

2012年2月
だっぴ実行委員会
かいわれの会

本企画イベントは、地域活動における若者力の向上を目指し、2010年度より岡山で開催されてきたものです。

地域で活躍する50人の魅力的な社会人をゲストとして招待し、参加者としては、今後の地域社会の重要な軸を担う若者50人を募集して開催しました。

企画から準備、当日までは、環境や地域づくりを担う若者のネットワーク作りを担う、“かいわれの会”という任意団体が中心となり、学生と共に実行委員会を組織し開催しています。

目指す未来としては・・・

- 学生や若手社会人が今後の未来を考えるキッカケとなる出会いの場が、地域に当たり前にある。
- そして、その当たり前を作るのは、当事者で組織された若者であり、運営に関わる若者自身の成長にも繋がる。
- そして、その“成長と繋がり”の場を、地域社会や企業が応援し、継続する仕組みが作られている。
- その結果として、地域の人的資源が向上し、地域がより豊かになっている。

この冊子は、そんな未来を夢見て開催された、2012年1月7日の“だっぴ50×50”の内容を記録したものです。

東日本大震災では、多くの悲しみと厳しい現実が生まれました。同じ日本に、今生きる者として、この動き、活動があったから、未来のあの姿があったと言える“確実な動き”を作っていく必要があると考えています。

イベントのコンセプトは、「地域の未来を耕す」ことです。

このイベント本来の目的を達成するために、冊子を手にした皆さま一人ひとりの方のご協力やご支援などを頂ければ幸いです。

2012年2月 実行委員長
柏原拓史

【日時】:2012年1月7日(土) 13:00~17:30

【会場】:国際交流センター 国際会議場

【規模】:118人(若者60人、社会人ゲスト48人、スタッフ10名)

①参加者として…10代、20代、30代のこれからの岡山を担う若者:60名

②ゲストとして…豊かな未来をつくりたいと軸をもって働いている社会人:48名

その人の物語(Story)がグッとくる人(過去)

「今」を大切にしていキキしている人(今)

未来を耕している人(未来)

【実施内容】

(1) イベント実施まで

- HPおよびブログによるゲスト情報の発信
- 上記含め各種メディア媒体を用いた広報とイベント認知度の浸透(定着のため)
- 協賛金の依頼と確保(地域が支える継続したイベントを目指すため)
- フェイスブックの活用

(2) 当日

- アイスブレイクを取り入れた雰囲気作り……………(場を創る)
- ゲストの活動紹介(口頭および仕事道具の展示など)……………(活動を知る)
- 少人数のグループに分けた、トークセッションの実施……………(気付きを深める)
- 参加者で内容を共有する……………(気付きを共有する)

※当日の流れ

- 12:00~13:00 準備、受付
- 13:00~13:30 オープニング&アイスブレイキング
- 13:30~15:25 トークセッション1(12グループ)
- 15:25~16:00 休憩(フリー交流)
- 16:00~17:00 トークセッション2(12グループ)
- 17:00~17:30 クローズイベント(共有化)

(3) イベント実施後

- 次年度の開催に向けた実行委員の募集(気付きから成長の場を提供)
(参加者60名の内、18名から次回実行委員会への参加希望があった)
- 報告書の作成と地域への公開

【特別助成】 福武教育文化振興財団

【協賛】 明和製紙原料株式会社、(株)積水ハウス岡山シャーウッド住宅支店、倉敷木材株式会社、自然派ワインのお店 プレヴナン、ゲストの方より 長谷川真紀さん、渡邊博之さん、小笠原ヒロ子さん